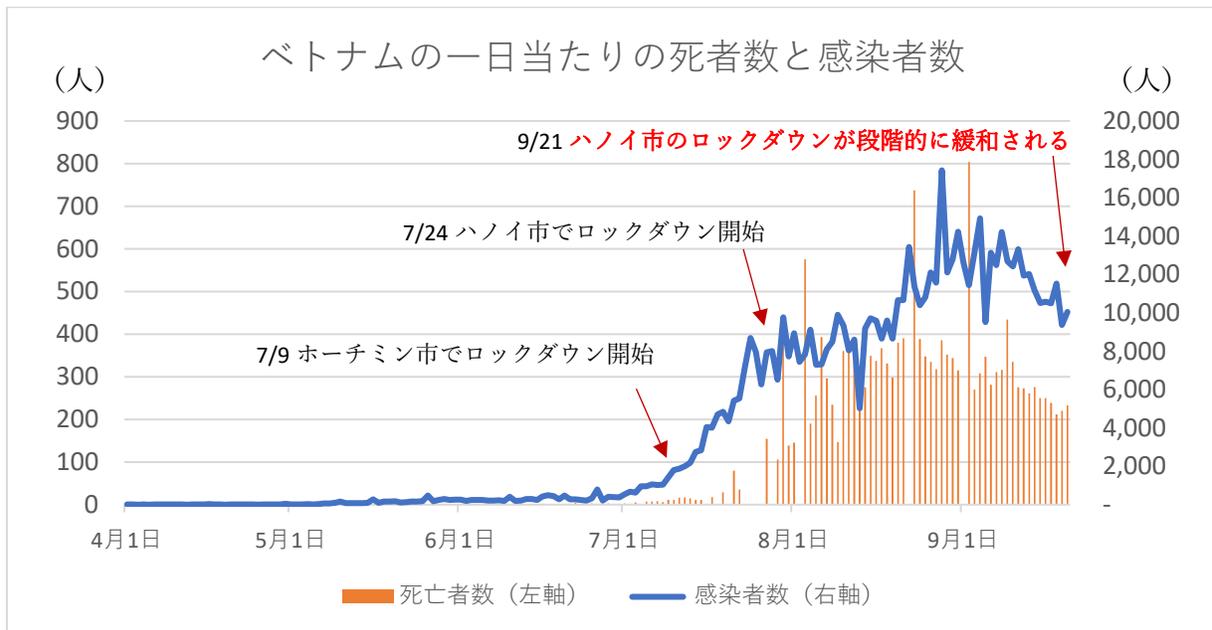


ベトナム現地情報（2021.09.28）

ジャパン証券 北山亨

第 16 回「ウィズコロナの道を歩み始めたベトナム」

ハノイ市では9月21日にロックダウン¹が段階的に緩和されました。また25日には首相から新型コロナウイルスと共存していく方針が示されるなど、ベトナムのコロナとの向き合い方が変わってきています。そこで今回は緩和前後のハノイ市の様子、コロナに対するベトナムの姿勢の変化をいくつか例を交えながらお伝えしていきたいと思ひます。ロックダウン中の出来事については、第13回「ベトナムとコロナ対策」もご参照ください。



(出所) WHO、4月1日から9月22日まで

1 回目の接種率 95.71%

ここ2カ月間、ハノイ市では新規感染者数を抑えるため、都市封鎖が行われてきました。感染が収まらない南部と首都ハノイ市²では「成人への1回目の接種を15日までに完了させる」の号令の下、ワクチン接種が急速に進みました。市の保健局の調べによると、ハノイ市では9月25日時点で18歳以上の市民の**95.71%**が1回目の接種を、そして同じく**15.76%**が2回目の接種を終わらせ

¹ここでは首相指示16号と呼ばれる最も厳しい社会隔離措置を指します。現在は一段階緩い首相指示15号。

²ホーチミン市、ビンズオン省、ロンアン省、ドンナイ省、ハノイ市の5省市

ています。また当社のスタッフもすでに全員が最低1回目のワクチン接種を完了させており、接種の進捗を実感します。直近のワクチン事情に関しても、ベトナム保健省がキューバ製のワクチンを8種類目のコロナワクチンとして認めたり、中東のUAEからのワクチンの輸入を承認したりと、国を挙げてワクチンの確保に取り組んでいます。

またハノイ市ではワクチン接種に加え、全市民に向けた大規模なコロナ検査（PCR検査、抗原検査）も実施されました。なかなか始まらなかった在住日本人向けのワクチン接種もついに開始され、筆者も先日18日に地元のクリニックで接種を受けてきました。ワクチンは日本から無償供与を受けたアストラゼネカ製のワクチンです。ここ数週間でハノイ市では経済再開に向け、市民一丸となったまさに総力戦のコロナ対策が行われてきたとあってよいでしょう。



オフィス前で行われた集団抗原検査



コロナ検査は学校や街中でも実施されました



日本から寄付された
アストラゼネカ製のワクチン
※写真は一部加工済み

ロックダウン緩和後のハノイ

ロックダウン緩和後の町には再びたくさんのバイクが戻り、いつになく危なげな運転が見られました。おそらくベトナム人も相当ストレスがたまっていたんだと思います。バイクや車が増え、粉塵が舞っているせいか、筆者の鼻炎が辛いのも街の復活を暗示しています。

しかしタクシーやバスなどの公共交通機関はまだ運行がストップしたままです。そのため道路には少し余裕が見られます。再開されれば、道路はまた混沌とした状態に戻るでしょう。渋滞解消が期待されるメトロ（地下鉄）もコロナによって開通予定日がまた伸びました。

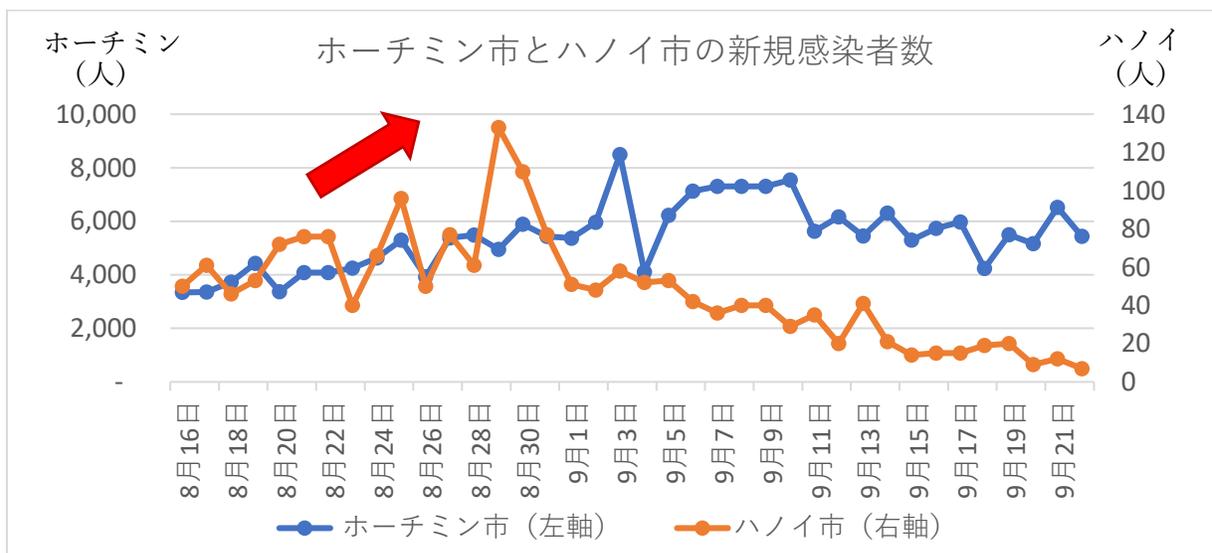


左がロックダウン最中の8月30日、右がロックダウン緩和後の9月23日
オフィスから見た道路の様子

ウィズコロナの道

当局は今まで感染者が0になるまでコロナを抑え込む対策を取ってきました。実際に過去3回の感染拡大局面では新規感染者数を0に抑え込んでいました。しかし今回の第4波では、以前の拡大時期と比べて増加数が大きく、完全な抑え込みには至っていません。特にベトナムで人口が最も多いホーチミン市は、9月に入ってから感染拡大に歯止めがかかりません。

ハノイ市が収束に向かう中、ホーチミン市は高止まりが続く。



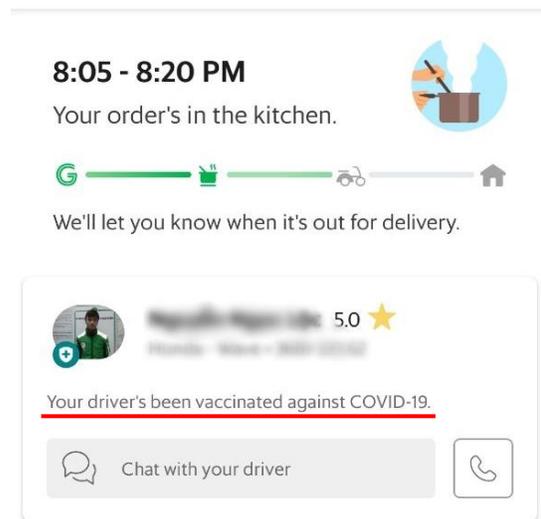
(出所) ベトナム保健省、8月16日から9月22日まで

工場閉鎖による生産の遅れは企業にとってマイナスです。ベトナムの業界団体や国内に生産拠点を持つアメリカ、ヨーロッパなどの経済団体は政府に経済活動の再開を要請しました。ベトナムの副首相はこの直後、工場で感染者が出てても工場を全面閉鎖しない旨を発表しています。

実際に影響は出ており、今年7月までにホーチミン市で認可された FDI（海外直接投資）の投資金額は前年同期と比べ 25%減少と、ロックダウンの影響が出ていると思われます。

また税関総局のデータによれば、年初から9月15日までの FDI 企業による輸出額は全体の 73%、輸入額は全体の 65%を占めています。2020 年も輸出の 71%、輸入の 64%が FDI 企業によるものでした。つまりベトナム経済において外国資本の貢献は大きく、政府の対応の変化は外資への配慮も含まれていると考えられます。

かくしてベトナムは**新型コロナとの共存**を模索する**ウィズコロナ**の道を歩み始めました。飲食店や工場の再開は経済復活の第一歩となると思います。身近なところでは真っ暗だった街に飲食店の灯りがともり、経済の再開を実感します。高い経済成長率を目標設定しているベトナムにとって、この「ウィズコロナ」への切り替えはプラスに作用してくると思われます。



デリバリーアプリの Grab。配達者が**コロナワクチン接種済み**であることを示す一文が追加されました。

これもウィズコロナへの取り組みの一例でしょう。

ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。